

提 案 書

提案名 (25字以内)	「よこはま国際フェスタ 2015」世界のフード体験企画
グループ名 (25字以内)	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

横浜市内を拠点に活動をする国際協力・多文化共生分野の市民団体や専門機関など6団体が、恒常的なプラットフォームを構築し、相互に連携をして横浜の国際協力・多文化共生の発展を目指しています。2010年度から「よこはま国際フェスタ」(毎年10月、会場：象の鼻パーク、来場者4~5万人、約100団体参加)、「よこはま国際フォーラム」(毎年2月、会場：JICA横浜、来場者のべ1500人~2000人、約50団体参加)を定期開催しています。市民への国際協力・多文化共生の理解促進を図ると共にイベントの企画・運営に多くの市民ボランティアに参画してもらうことにより、国際協力・多文化共生分野の人材育成を進めています。また、地域で活動をする市民団体や関係機関に活動紹介の機会を提供し、同時に団体相互のネットワーク構築を促進しています。

ホームページ <http://yokohama-c-festa.org>

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
6月	よこはま国際フェスタ 参加団体募集
7月	よこはま国際フェスタ 参加団体決定
8月	よこはま国際フェスタ 参加団体決定通知・パンフレット作成
9月	よこはま国際フェスタ 参加団体説明会、ボラ活@みなとみらい
10月	よこはま国際フェスタ 開催
11月	よこはま国際フェスタ 決算
12月	よこはま国際フェスタ 事業報告書作成
1月	
2月	
3月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主権者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
 (6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果(活動を行うことによる当地区への効果)
 (8) その他、特徴やアピールする点

1) 活動の内容

「ともに生きる横浜 ともに創る世界」をテーマに開催する「よこはま国際フェスタ 2015」の新たな企画として世界のフードを体感し、味わいながら学べるコーナーを設置します。ワークショップや料理講座、エコ・ステーションなどの企画を通して、世界の食文化や貧困・環境の問題を考えます。横浜と世界の繋がりを来場者に知ってもらい、関連企画とリンクしながら横浜の国際協力・多文化共生を推進します。

関連企画：参加団体ブース、転車台おんがくひろば（民族音楽・舞踊のステージ）、プラットひろば（ワークショップ）、Cプラットクルーズ（国際協力テーマのミニクルーズ）、だがしや楽校（子どもボランティア）

(2) 活動の主催者及び参加者

主催者：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

よこはま国際フェスタ 2015 プロジェクト

<構成団体>特定非営利活動法人 横浜 NGO 連絡会/JICA 横浜/公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)/横浜市国際局/特定非営利活動法人 教育支援協会/日本赤十字社神奈川県支部

参加団体：ブース出展団体（NGO/NPO、国際機関、学校、自治体、大使館、専門機関）：94 団体（予定）

ステージ出演団体：26 団体（予定）

来場者：約 50,000 人（予定）

(3) 活動を実現するための方法

運営委員会：年 2 回開催、運営委員会事務局会議：毎月 1 回開催、電子会議 / e-vo チームミーティング：企画準備など随時、Facebook グループによる会議 / 参加団体説明会：9 月 12 日（土）開催 ボラ活 @みなとみらいも同時開催 / 会場使用については、横浜市港湾局と随時協議を実施。使用許可取得の予定 / よこはま国際フェスタ 2015 参加団体、公益財団法人横浜市資源循環公社などの協力を得る。

(4) 時期 イベント開催日： 2015 年 10 月 10 日（土）・11 日（日） 10：30～16：00

(5) 場所 イベント会場：象の鼻パーク BゾーンおよびAゾーンの一部（横浜市中区海岸通 1）

事前準備：JICA 横浜（横浜市新港 2-3-1）

(6) 当地区で活動を行う理由

国際協力・多文化共生を横浜の特徴的な文化として定着させたいと考えています。国際協力・多文化共生について発信する際には、横浜港をはじめ、世界との繋がりがイメージされ、様々な文化発祥の地である横浜の象徴であるみなとみらい 21 地区が、情報の発信地として最も優れていると考えられます。

一方、主催者を構成する 6 団体は、みなとみらい 21 地区およびその近隣に事務所を置き、事業展開しており、この地区は、主催団体にとって正に地域そのものです。所属する地域の発展に専門性をもって資すると共にこの地域の企業、通勤者、生活者と連携をしていくことが、今後の重要な課題であると考えています。

(7) エリアマネジメントの効果

みなとみらい 21 地区には、JICA 横浜・国際機関・NGO/NPO など国際協力・多文化共生に係る組織・機関が多く、この地区から横浜の国際協力・多文化共生を発信することにより、この分野での横浜の取り組みの先進性と創造性を生み出す湧水地としてのみなとみらい 21 地区の存在価値を高め、国際協力・多文化共生を横浜の文化として定着させることができます。

(8) その他、特徴やアピールする点

横浜市港湾局の指導により、本催事において過去 5 年間、認められてきた企業のブース参加が、今年度から認められなくなりなりました。国際協力・多文化共生分野での企業との連携がますます重要になる時代にあって、今後の企業との連携方法について課題を抱えています。また、みなとみらい 21 地区の企業・通勤者・生活者との連携を深め、イベント発信力をさらに強化するために、次年度以降の本催事の開催会場の選定についても今年度中から研究を進めていきたいと考えています。

Yokohama International Festa 2014

よこはま国際フェスタ2014

with 横浜だけがしや楽校

みんなで創る横浜の国際協力・多文化共生

2014

10/18 土
10/19 日

10:30
~16:00

入場無料
Free

会場
象の鼻パーク

みなどみらい線
日本大通り駅より
徒歩5分

お買いもので
国際協力!

会場子ども
ボランティア!



お問い合わせ/事務局
Tel : 045-662-6350
E-mail : info@yokohama-c-festa.org
URL : http://yokohama-c-festa.org

主催 よこはま国際協力・国際交流プラトフォーム運営委員会
よこはま国際フェスタ2014プロジェクト
(特設) 横浜 NGO 連検会/公益財団法人 横浜国際交流協会 (YOKE) / JICA 横浜/横浜市政策局国際政策室/ (特設) 教育支援協会/ 日本赤十字社神奈川県支部



世界の味を
楽しむ!

聴く・観る
・踊る!

横浜を感じる
クラフト
クルーズ!

世界のカルチャーが
横浜に大集合!!
●同時開催●



Diwali
in Yokohama 2014
インド文化・フード・ステージ・
ワークショップ等、インド色!

80組のアーティストが様々な
目的の演劇やダンスを披露!

転車台おんがくひろば プログラム

アフリカやアジアなど、様々な国の民族楽器、パフォーマンズをお楽しみいただけます。ステージ出演者による「STAND UP TAKE ACTION」多文化共生」キャンペーンも開催します!

●10月18日 (土)

- 11:00-11:30 フラ・ハラウ・ホ・ワイブライニ/フラダンス
- 11:30-12:00 マトリョーシカ/ロシア舞踊
- 12:00-12:30 アフリカを感じるとき(1)/アフリカ紹介
- 12:30-13:00 クルベ・ダ・バジヤオン/
ブラジリアンダンス Aca(アシェー)

●10月19日 (日)

- 11:00-11:30 ハウンダリ/バリの舞踊
- 11:30-12:00 クントゥル・ラテンアメリカ・カルチャープラン/ラテン舞踊
- 12:00-12:30 麻田さとし/二胡演奏
- 12:30-13:00 インドネシア人家族の会/インドネシア舞踊
- 13:00-13:30 YOKO舞踊団/ベリーダンス
- 13:30-14:00 ウガンダから動物園の飼育係がやってくる! /
ウガンダ野生動物教育センター・横浜市環境創造局
- 14:00-14:30 一期AM/ジャンベ
- 14:30-15:00 STAND UP TAKE ACTION /
ベスカドール町田 (ワットサルチーム)、他
- 15:00-15:30 アフリカを感じるとき(2)/アフリカ紹介
- 15:30-16:00 Omar Gaindefall&Bayefall Percussion /
セネガルの伝統音楽



アフリカと横浜

2008年と2013年に、横浜で「アフリカ開発会議」が開催されました。日本政府が、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行、アフリカ開発委員会(AUC)と共催するアフリカの開発をテーマとする国際会議です。これまで、横浜市では、開催の底にアフリカについて理解を深めるために様々な取り組みをしてきました。今後、持続的に理解を深めていくことが大切です。

転車台おんがくひろばで、アフリカを知り、感じましょう!

*プログラムの内容は、変更になる場合があります。

来場者・参加団体のみなさんで
ステージに乗りこえ
キャンペーンを盛り上げましょう!

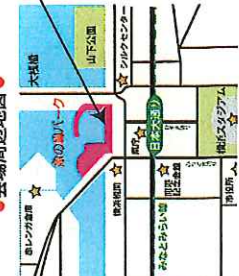


- 【協賛】
神奈川県行政書士会/横浜エレベータ株式会社/
外務省/親日新聞横浜支局/横浜国際ボランティア協会/
JF(特)にもアフリカをつくる会(特設) 横浜国際ボランティア協会/
株式会社横浜シーサイドライン/東横エリート株式会社/
ランダムアメリカ青少年の会/横浜F・マリノス/
学校法人創生学園 クラーク記念国際高校 経済青葉キャンパス 国際交流ゼミ
- 【後援】(順不同)
外務省/親日新聞東京本社横浜支局/
神奈川新聞社/毎日新聞社横浜支局/日本経済新聞社横浜支局/
東京新聞横浜支局/FMヨコハマ/横浜商工会議所/
横浜市教育委員会/bk(テレビ神奈川)
- 【協力】
京浜エリート株式会社/公益財団法人横浜市商賈振興公社/
明るい社会づくり運動中区協議会/株式会社やおきん/
一般社団法人おっこ協会/ベスカドール町田/
街コンジヤパン(朝日リンクU)

【同時開催/広域協力】

- 「まちまちちちちミュージックフェスティバル」
◆10月19日/10:50~18:00
園内駅前口、横浜市庁舎1F、横浜公園、大さん橋、象の鼻パーク(開港の日)等、全11会場
- 「デイリィ・イン・ヨコハマ2014」
◆10月18日、19日/10:00~16:00 山下公園

【特別協力】
横浜市水道局



主催団体・よこはま国際協力・国際交流プラトフォーム(よこはまクラフト)とは...?

横浜および周辺地域に活動地を有し、国際協力、国際交流、在日外国人支援に取り組むNGOのネットワーク。国際機関、国際組織、学校、企業等の組織的な連携の場をつくり出す目的。国際協力、国際交流、多文化共生を文化とする契機「よこはまクラフト」は、このネットワーク(CI)に由来しています。推進する「よこはまクラフト」に由来しています。
⇒ Cooperation / Collaboration / Communication

- 【会場までのアクセス】
◆みなどみらい線
日本大通り駅より徒歩5分
- ◆JR 関 園内駅より徒歩15分
- *駐車場はありません。公共交通

収支予算書

グループ名 よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

1 収入(自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項目	金額	説明(負担者及び負担方法等)
助成金(A)	500,000	
自己資金	120,000	運営委員団体負担金より支出
参加費	100,000	¥500/人×100人×2日
合計(B)	720,000	(B) ≧ (C)

2 支出(助成金対象経費分)

項目	数量(単位)	単価	金額	説明
テント	5張	16,000	80,000	テント: ¥10,000、ウエイト: ¥2500、横溝: ¥3,500
テーブル	20台	1,100	22,000	
椅子	60脚	350	21,000	
防炎シート	30m	980	29,400	養生用
消化器	3台	3,300	9,900	
LPガス	2台	5,800	11,600	
発電機	2台	22,000	44,000	
手洗いシンク	3台	8,200	24,600	
シンク等運搬費	一式	60,000	60,000	
清掃費用	一式	162,000	162,000	
夜間警備	一式	100,000	100,000	
廃棄物処理	一式	43,000	43,000	

トナー	1セット	36,000	36,000	レーザープリンター4色
インク	3セット	4600	13,800	インクジェットプリンターインク5色パック
用紙	2セット	6,000	12,000	カラー用紙5,000枚セット
文具	一式	5700	5,700	マジック・テープ・糊・接着材・紙類など
イベント保険	一式	45,000	45,000	
合計(C)			720,000	【みなとみらい】(C) ≧ (A) 【みらい21】(C) × 4/6 ≧ (A)